



北豊島中学校だより

～ 自律・尊重・創造 ～

令和7年2月4日発行

【発行者】

池田市立北豊島中学校

校長 大賀 健司

北豊島中学校 学校教育自己診断アンケートについて(まとめ)

11月にオンラインにて実施しました「北豊島中学校 学校自己診断アンケート」について、ご協力いただきありがとうございました。学校でも、全学年生徒を対象にオンラインアンケートを実施しました。つきましては、アンケート結果の概要について次のとおりお知らせします。学校としても、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動及び教育環境の一層の充実に努めてまいります。

■ 回答数及び回答率 生徒回答数 340 (回答率 73%)、保護者回答数 152 (回答率 36%)

■ 良くあてはまる
 ■ やや当てはまる
 ■ あまり当てはまらない
 ■ 全く当てはまらない
 ■ わからない

学校生活について

対象	項目	良くあてはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	わからない
生徒	学校に行くのが楽しい	35.6	46.5	9.4	4.4	4.1
	自分の学級は楽しい	40	42.6	7.6	5	4.7
	学級では間違っただけを発言してもからかわれない	15	37.2	25.4	6.5	15.9
	クラブ活動に積極的に取り組んでいる	47.3	22.2	7.7	9.8	13
保護者	子どもは学校に行くのを楽しみにしている	24.3	55.3	14.5	2	3.3
	子どもは自分の学級が楽しいと言っている	26.3	45.4	15.1	6.6	6.6
	学校行事は積極的に参加できるよう工夫している	23.7	53.9	11.2	2.6	8.6

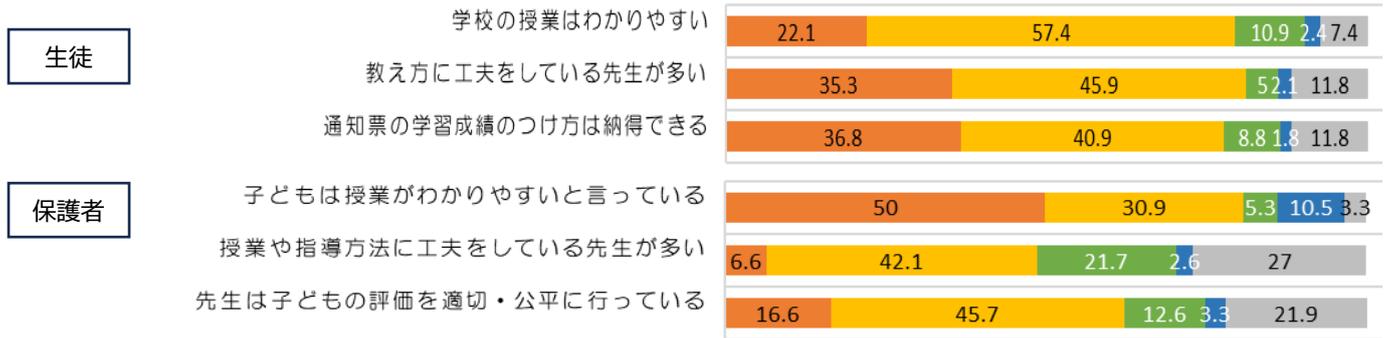
「学校へ行くのが楽しい」という質問に対し、82%の生徒が肯定的回答でした（昨年度 76%）。「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」も 80%となっており、昨年度の 69%を大きく上回りました。生徒の「自分の学級は楽しい」も8割を上回っており、充実感をもって学校生活を送っていることがうかがえます。また、クラブ活動や学校行事に対する肯定的回答の割合も高く、学校生活に積極的に関わり、楽しんでいる様子がわかります。一方、「間違っただけを発言してもからかわれない」の肯定的回答は 52%にとどまっています。より心理的安全性を高めた集団づくりが今後の課題と言えます。

生活指導・生徒支援

対象	項目	良くあてはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	わからない
生徒	先生は間違っただけをした時には指導してくれる	41.8	40	51.2	12.1	
	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い	39.2	35.1	7.4	1.5	16.8
保護者	先生は子どものまちがった行動を指導してくれる	11.3	32.5	27.2	8.6	20.5
	いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	11.3	33.1	19.9	4.6	31.1
	子どもは気軽に相談できる先生がいると言っている	14.5	39.5	27	6.6	12.5

「先生は間違っただけをした時には指導してくれる」に肯定的な回答をした生徒が 82%に対して、保護者の肯定的な回答は 41%とその半数にとどまりました。日常的に、子どもたちの現状や抱える課題を把握し、支援に努めていますが、それらの姿勢や取り組みを保護者にも共有し、家庭とも連携しながら生徒指導・生徒支援を進める必要があると考えています。

授業・学習について



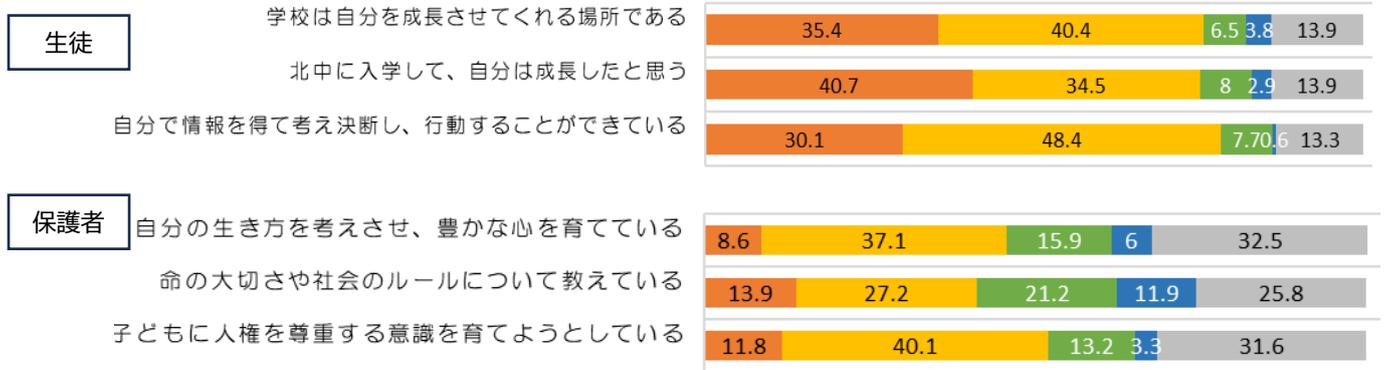
「子どもは授業がわかりやすいと言っている」に対する保護者の肯定的回答が、昨年度49%に対し、今回は81%と大幅に改善しました。ただし「授業や指導方法に工夫をしている」の保護者回答は5割にとどまっており、今まで以上に教員の授業や指導方法の改善に向けて取り組む必要があります。また、各質問に「わからない」との保護者回答も多く、教育課程説明会等で、指導・評価方法についてより丁寧な説明に努めていきたいと思ひます。

開かれた学校について



保護者の「学校での様子などについてよく知ることができる」について、昨年度は64%の肯定的な回答、今年度は65%と変化がありませんでした。学校ホームページでは教育活動の様子や生徒の様子を可能な限り発信していますが、スクリーン等でより細やかな発信を求める声もありました。また、各学年では防災教育やキャリア教育、人権教育など様々な取り組みを進めていますが、それらについて「家庭で話し合うことがある」と答えた生徒は半数にとどまりました。学校での取り組みが、日常での生活においても生かされるよう、また、取り組みの意図や内容がしっかりと家庭にも伝わるように努めていきたいと思ひます。

生き方について



「自律・尊重・創造」を学校目標とし、「生徒を育てる学校」から「生徒が育つ学校」へと取り組みを進めてきました。生徒自身は、自分の成長を肯定的に捉え、ある程度自信を持って行動できている様子がアンケートからはわかります。一方、保護者の皆様からは、これからの社会を支える一員として、より自覚ある行動や成長を期待する声があがっています。

チーム担任制について



本校では、すべての子どもたちを全職員で多角的に支援し、多面的に子どもの良さを見出すチーム担任制を取り入れています。生徒アンケートの結果、73%の生徒が肯定的にチーム担任制を捉えていることがわかりました。自由記述欄から生徒の声を拾うと、「相談事があるとき自分が一番話しやすい先生に頼ることができる」「一人の担任に任せきりにならないことで、しっかりと生徒を見られる環境が整っていると思う」「色々な先生と関わることができ、今回は誰なんだろうとワクワクする」など、様々な先生との出会いを楽しんでいる姿が明らかになりました。

一方、保護者のアンケート結果を見ると、肯定的な意見が40%、否定的な意見が42%と半々に分かれました。この制度の不安な点として、「保護者から見ると、誰に相談すればよいかははっきりしない」「連絡担当先がコロコロ変わり、責任の所在が分散していると感じる」という点や、「わが子をしっかりと丁寧にみてくれているか不安である」「一年を通して子どもの学校生活を見てもあれば、繊細な性格など、よく解り対応できるのでは」という声などがあがりました。

本校としても、いまの北中のスタイルがゴールではなく、学校をよりよいものにするため、現状の延長線でいいところを見ながら、また、課題があるところは解消しながら、あるべき姿を検討していきたいと考えています。まずは、常に教職員間で情報交換と情報共有をしっかりと行い「学年の教員全員が、生徒一人一人の担任である」という意識を持って関わられる体制づくりを進めて参りますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【その他 保護者自由記述欄より】

「子どもたちの自主性や自律を大切にしてもらっているのはとてもありがたく、3年間のびのびと楽しく通わせてもらい、たくさんの仲間と様々な経験をさせてもらえたことは大変感謝しております。ありがとうございます。」「生徒の自主性を大切にするのは勿論わかりませんが、他校と比較すると甘いという声も聞きます。指導すべき内容はしっかり指導していただきたいです。」「学年懇談を年一回でもいいので実施して保護者全体に学校から伝える場を作ってほしいです。」「子どもは楽しく学校に通っているので、自由にしていいプラスα、今後高校大学、社会に出て困らない教育、指導や習慣づけをお願いしたいと思っています」

等々、様々なご意見を頂戴しました。この度の学校アンケートでも頂いた様々なご意見も参考にしながら、より良い取り組みとなるよう、教職員が一丸となって本校教育の改善と向上に一層努めてまいります。ありがとうございました。

2月の主な行事

- 6日(木) 授業参観(1, 2年)
- 8日(土) 新入生制服採寸
- 10日(月) 11日(火) 私学入試
- 14日(金) 3年特別選拔出願
- 20日(木) 公立高校特別選抜入試①
- 21日(金) 公立高校特別選抜入試②
- 21日(金) 3年公立懇談(～26日)
- 27日(木) 1・2年学年末考査①
- 28日(金) 1・2年学年末考査②

3月の主な行事

- 5日(水) 公立高校一般選拔出願
- 7日(金) 10日(月) 3年卒業式練習
- 12日(水) 公立高校一般入学者選抜
- 13日(木) 卒業式予行・前日準備
- 14日(金) 第75回卒業証書授与式
- 18日(火) 生徒会選挙
- 21日(金) 公立高校一般選抜合格者発表
- 24日(月) 修了式

